



**育てた米で餅つき大会**  
 三田・志手原小  
 三田市志手原の市立志手原小学校で4日、餅つき大会があり、児童や隣接する市立志手原幼稚園の園児ら計約70人がお年寄りと一緒にきねをついた。

地域の触れ合いの場にと同小学校の老人クラブ連絡協議会が毎年開き、22回目。

4、5年生が体験学習で育てたもち米約55キがまきで蒸され、4基の臼に入れられると、頭巾にエプロン姿の児童らは「ヨイショ、ヨイショ」と掛け声に合わせてきねを振り下ろした。

出来上がった餅はせんざいなどに入れて味わい、5年生の井上優希さん(10)は「自分で育てた米をついたお餅なのでひときわおいしい」と話した。

【粟飯原浩】  
 園児と一緒にきねを振り下ろす小学生＝三田市立志手原小学校で



神戸新聞 ホーム > 地域 > 三田 > 児童と園児が餅つきに挑戦 三田・志手原校区

## 三田

2018/12/4 18:22 神戸新聞NEXT

### 児童と園児が餅つきに挑戦 三田・志手原校区

ツイート おすすめ0 シェア

印刷



「1、2、3…」と数えながら餅つきを楽しむ児童と園児＝志手原小学校

志手原小学校（兵庫県三田市志手原）で4日、児童と近くの志手原幼稚園の園児計69人が、地元のお年寄りたちと一緒に餅つきに挑戦した。4、5年生が育てたもち米を使用し、つきたての餅を味わった。

志手原校区老人クラブ連絡協議会が毎年企画している。これまでは2月に開いていたが、寒さを考慮して今年は11月に変更した。

ログインして続きを読む